

2023年4月入学  
2022年10月入学

## 北海道大学大学院工学院

博士後期課程

学 生 募 集 要 項

(一般入試・社会人入試)

北海道大学大学院工学院

## 2023年4月入学

### 一般入試・社会人入試 募集人員

専攻	募集人員	専攻	募集人員
応用物理学	9名	環境フィールド工学	6名
材料科学	7名	北方圏環境政策工学	7名
機械宇宙工学	5名	建築都市空間デザイン	5名
人間機械システムデザイン	5名	空間性能システム	5名
エネルギー環境システム	5名	環境創生工学	5名
量子理工学	5名	環境循環システム	5名
		計	69名

## 2022年10月入学

### 一般入試・社会人入試 募集人員

専攻	募集人員	専攻	募集人員
応用物理学	若干名	環境フィールド工学	若干名
材料科学	若干名	北方圏環境政策工学	若干名
機械宇宙工学	若干名	建築都市空間デザイン	若干名
人間機械システムデザイン	若干名	空間性能システム	若干名
エネルギー環境システム	若干名	環境創生工学	若干名
量子理工学	若干名	環境循環システム	若干名

### 【重要】志願者のみなさまへ

新型コロナウイルス感染症対策のため、募集要項に記載の内容と異なる内容で試験を実施する可能性があります。入試方法の変更など、不測の事態が発生した場合の対応は、下記本学院ホームページで公表しますので、随時確認してください。

北海道大学大学院工学院 入試情報

<https://www.eng.hokudai.ac.jp/graduate/examinfo/>

## 目 次

教育目標とアドミッションポリシー .....	1
<b>2023年4月入学試験に関する要項</b>	
一般入試 .....	2
1. 募集人員 .....	2
2. 出願資格 .....	2
3. 出願資格予備審査 .....	3
4. 出願方法 .....	4
5. 出願書類等 .....	5
6. 試験日及び選考方法 .....	7
7. 合格発表 .....	8
8. 入学料及び授業料 .....	8
9. e <sup>3</sup> プログラムについて .....	8
10. 在学期間の短縮による修了について .....	8
11. 長期履修制度について .....	8
12. 注意事項 .....	8
13. 個人情報の取扱いについて .....	8
14. その他 .....	9
社会人入試 .....	10
<b>2022年10月入学試験に関する要項</b>	
一般入試 .....	11
社会人入試 .....	12
長期履修の申請資格、申請手続き等について .....	13
「博士後期課程（社会人入試）志願者の研究業績等調書」記載例 .....	14
指導教員及びその研究分野一覧表 .....	15

## 教育目標とアドミッションポリシー

### ・教育目標

本学院の目標は、人類の長い歴史の中で営々と積み重ねられてきた学問の成果の継承と、それを基にした新たな科学・技術の創造を通じて、幅広い工学分野における基礎的素養と高度な専門的素養を身に付け、グローバル化や科学技術の高度化、研究領域の学際化等に柔軟に対応できる多様な知識と思考力、判断力、実務対応能力を持つ人材を育成することにあります。

### ・求める学生像

#### 博士後期課程

- (1) 幅広い教養と科学・技術に関する広い視野からの豊富で高度な専門知識を有し、それらを活かして問題解決を図るために必要な優れた思考力および判断力を有する学生
- (2) 様々な考えを持つ世界中の人達との相互理解を可能とする高いコミュニケーション能力を有する学生
- (3) 上記の知識や能力の継続的な習得や向上に意欲を持った学生
- (4) 社会で生じている様々な問題について自ら考え解決するとともに、問題解決を通して新たな科学・技術を創造する意欲と実行力のある学生

上記の学生には本学院入学前に博士後期課程での学修や研究に必要な専門分野に関わる高い学力や倫理観を習得していることを期待します。

### ・入学者選抜の基本方針

本学院では、国籍を問わず、理工系の専門分野を卒業し、工学分野の修士、博士の学位を取得しようとする人物、並びに学部卒業及び修士修了後に社会で活躍しながら博士の学位を取得しようとする有為の人物を下記の入学試験で選抜しています。

#### 博士後期課程入試(一般入試・社会人入試・外国人留学生入試)

博士後期課程入学試験では、語学及び専門に関する筆答試験と研究能力及び研究課題に取り組む意欲を評価する口頭試問により入学者を選抜します。また、専攻によっては、学業成績優秀者、企業などにおける研究開発等の業績が顕著な人物に対して筆答試験を免除しているところもあります。

# 2023年4月入学試験に関する要項

## 一般入試

### 1. 募集人員

専攻	募集人員	専攻	募集人員
応用物理学	9名	環境フィールド工学	6名
材料科学	7名	北方圏環境政策工学	7名
機械宇宙工学	5名	建築都市空間デザイン	5名
人間機械システムデザイン	5名	空間性能システム	5名
エネルギー環境システム	5名	環境創生工学	5名
量子理工学	5名	環境循環システム	5名
		計	69名

### 2. 出願資格

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び2023年3月までに修士の学位又は専門職学位を授与される見込みの者
- (2) 外国の大学において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2023年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2023年3月までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2023年3月までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学（以下「国際連合大学」という。）の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2023年3月までに授与される見込みの者
- (6) 外国の学校、(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者及び2023年3月までに認められる見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）  
「大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者」及び「外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者」
- (8) 本学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2023年3月31日までに24歳に達する者（以下「個別の資格審査による志願者」という。）

※2022年10月入学を希望する者は、11～12ページを参照すること。

※社会人入試志願者は、10ページを参照すること。

### 3. 出願資格予備審査

#### 《出願資格予備審査 インターネット出願登録期間》

2022年5月9日（月）午前10時から5月13日（金）午後5時まで

#### 《出願資格予備審査 出願書類の提出期間》

2022年5月9日（月）午前10時から5月13日（金）午後5時まで

※郵送の場合も期間内必着とします。

「2. 出願資格」の（7）及び（8）による志願者は、願書を受理する前に出願資格に関する予備審査を行いますので、上記の期間内に「4. 出願方法」に従い、「①インターネット出願サイトへの登録」を行ってください。出願登録後、入学願書・履歴書を除いた出願書類（5ページ参照）を用意し、下記「①出願資格予備審査提出書類」を添えて、「4. 出願方法」に記載の出願書類提出先に提出してください。

#### ①出願資格予備審査提出書類

出願資格予備審査では、入学願書・履歴書を除いた出願書類（5ページ参照）に加えて、下記の書類が必要です。出願資格予備審査申請書には、志望する指導教員及び志望する専攻の専攻長の確認印が必要となりますので、時間には余裕を持って書類を準備してください。

出願資格	提出書類
（7）文部科学大臣の指定した者	<ul style="list-style-type: none"><li>○出願資格予備審査申請書（本学院 HP からダウンロードすること）</li><li>○研究業績目録・主たる研究論文（コピー）（様式任意）</li><li>○研究課題・研究期間についての研究歴を証する所属長の証明書（様式任意）</li><li>○卒業証明書</li></ul>
（8）個別の資格審査による志願者	<ul style="list-style-type: none"><li>○出願資格予備審査申請書（本学院 HP からダウンロードすること）</li><li>○研究業績目録・主たる研究論文（コピー）（様式任意）</li><li>○研究課題・研究期間についての研究歴を証する所属長の証明書（様式任意）</li><li>○最終出身学校等の卒業証明書</li><li>○最終出身学校等の成績証明書</li></ul>

#### ②出願資格予備審査結果通知

出願資格予備審査の結果は、2022年6月6日（月）にEメールにて通知します。出願資格を認められた者は、「4. 出願方法」に記載の「検定料納入期間」内にインターネット出願サイトから検定料を納入してください。所定の期間内に検定料を納入しない場合は、出願を無効とします。

検定料を納付した後、同サイトから入学願書等（PDF）をダウンロードし、10ページに記載の連絡先メールアドレスまで当該PDFファイルを送付することで、出願手続きが完了となります。

なお、6月10日（金）までに予備審査の結果通知が届かない場合は、受信先メールアドレスの迷惑メール等のフォルダに入っていないか確認した上で、連絡先までお問い合わせください。

#### 4. 出願方法

本学院への出願は、①インターネット出願サイト(<http://e-apply.jp/e/hokudai-eng>)への登録、②検定料の納入、③出願書類の提出、これらすべてが指定の期間内に行われたことをもって完了します。

指定の期間内に全ての作業が完了しなかった場合、途中まで作業を行っていた場合であっても、一切の受付はできませんので注意してください。

##### 《インターネット出願登録および検定料納入期間》

2022年6月13日(月)午前10時から2022年6月24日(金)午後5時まで

##### 《検定料》

30,000円

##### 《出願書類の提出期間》

2022年6月20日(月)から6月24日(金)まで

※郵送受付のみ。6月24日(金)消印有効。

※海外からの郵便は追跡番号で発送日を確認します。

##### 《出願書類提出先》

〒060-8628 札幌市北区北13条西8丁目

北海道大学工学系事務部 教務課大学院担当

#### ①インターネット出願サイトへの登録

一般入試及び社会人入試で出願する者はインターネット出願サイト(<https://e-apply.jp/e/hokudai-eng>)から、「日本語」を選択し、出願ページに進んでください(注:「英語」からは出願登録ができません)。その後、「はじめに」を確認した上で、「募集要項・出願する」から、画面の指示に従い出願登録を行ってください。

※インターネット出願サイトへは、本学院HP(<https://www.eng.hokudai.ac.jp/graduate/>)の「入試情報」からもアクセスできます。

#### ②検定料の納入

インターネット出願サイトで必要な登録作業を行った後、同サイトにて検定料を支払ってください。

支払い方法は、コンビニエンスストア、郵便局・銀行のATM、ネットバンキング、クレジットカード、中国銀聯網決済の中から選択ができます。(支払いに際し、決済手数料500円が必要となります)

郵便局・銀行の「窓口」での支払いはできませんので注意してください。

支払い方法の詳細については、インターネット出願サイトをご覧ください。

**【重要】**現在本学大学院修士課程・専門職学位課程を修了見込みの者で、間を空けずに引き続き工学院博士後期課程に進学する者及び国費外国人留学生は検定料の納付が不要となります。該当の志願者はインターネット出願サイトで出願登録を完了した後、入金手続き前に教務課大学院担当(k-gakuin@eng.hokudai.ac.jp)宛にEメールにて、現在の所属、学生番号、氏名を記載の上、出願登録を完了した旨をご連絡ください。

なお、既納の検定料はいかなる理由があっても返還しませんので、ご注意願います。ただし、次の場合のみ返還に応じます。

①検定料を払い込んだが北海道大学に出願しなかった(出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合

②検定料を誤って二重に払い込んだ場合

(注) 出願期間内に願書の提出が完了しない場合、検定料を支払っていても出願は認められませんので、検定料の支払いは余裕を持って行うようご注意ください。

#### ③出願書類の提出

検定料の支払い完了後、インターネット出願サイトから「入学願書」・「履歴書」をダウンロード(PDF)し、それぞれをカラー印刷(両面印刷不可)した上で、出願期間内に出願書類等(5ページ参照)とあわせて上記願書等提出先に郵送してください。※検定料の支払いが完了するまでは、入学願書等のダウンロードができませんのでご注意ください。願書等を郵送する際は、ダウンロードしたPDFファイル4枚目に添付されている郵送用宛名ラベルを使用して、必ず書留郵便で送付してください。

## 5. 出願書類等

### 《出願に当たっての留意事項》

出願に際しては、事前に指導を希望する教員に連絡を取ることが必要です。教員の研究分野及び連絡先等については、15 ページ以降の「指導教員及びその研究分野一覧表」及び本学院 HP で確認してください。

	提出書類	摘要
	出願書類チェック表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本学所定様式。本学院 HP からダウンロードすること。</li> <li>・下記出願書類と一緒に提出すること。</li> </ul>
1	入学願書・履歴書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット出願完了後に出力可能となる PDF ファイルを、A4 版の用紙にカラー印刷すること。</li> <li>・出願後に転居等で連絡先を変更する場合は、教務課大学院担当に申し出ること。</li> </ul>
2	入学願書用写真	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット出願サイトにアップロードすること。なお、一旦アップロードすると、その後は向きの変更ができないため、アップロードする際の写真の向きには十分注意すること。</li> <li>・上半身脱帽、正面向。3ヶ月以内に撮影したもの。</li> <li>・写真サイズは1MB 以上、3MB 以下とすること。</li> </ul>
4	修士論文の概要又は 修士課程における研究等の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様式任意。A4 判用紙1～2枚程度</li> <li>・2023 年3月までに修士の学位又は専門職学位を授与される見込みの者及び外国の大学において基礎力審査に相当するものに合格した者は、修士論文概要に代えて、「研究の経過の概要」(A4 判用紙2枚程度で様式任意)を提出すること。</li> <li>・出願資格(7)及び(8)により出願する者は提出不要。</li> </ul>
5	受験票送付用封筒	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長形3号(長3)封筒(120mm×235mm)を用意すること。</li> <li>・本学院 HP から「受験票送付用宛先ラベル」をダウンロードし、カラー印刷すること。</li> <li>・受験票送付先の住所(研究室不可)、氏名、受験専攻を記入の上、封筒に貼付すること。</li> <li>・封筒には 354 円分の切手を貼付すること。</li> </ul>
6	可否通知用封筒	<ul style="list-style-type: none"> <li>・角形2号(角2)封筒(240mm×332mm)を用意すること。</li> <li>・本学院 HP から「可否通知用宛先ラベル」をダウンロードし、カラー印刷すること。</li> <li>・可否通知送付先の住所(研究室不可)、氏名、受験専攻を記入の上、封筒に貼付すること。</li> <li>・切手の貼付は不要。</li> </ul>
7	大学院成績証明書	<p><b>【中国以外の教育機関出身の出願者】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本学工学研究科・工学院又は情報科学研究科の出身者は提出不要。</li> <li>・大学院在籍歴がない者は提出不要。</li> <li>・証明書の原本が日本語又は英語以外の言語で書かれている場合は、「当該言語で書かれた証明書の原本」と「公的な和訳又は英訳の原本」の両方を添付すること。</li> </ul> <p><b>【中国の教育機関出身の出願者】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CHSI(China Higher Education Student Information and Career Center)が発行する英語による成績証明書を、CHSI から本学院(k-gakuin@eng.hokudai.ac.jp)あてに直接メールで送信する形で提出すること。</li> <li>CHSI アドレス:<a href="https://www.chsi.com.cn/">https://www.chsi.com.cn/</a></li> <li>※CHSI の証明書発行には時間がかかる場合があるので、時間に余裕を持って請求すること。出願書類提出期間後に到着したものについては、出願書類として受け付けないので十分注意すること。</li> </ul>
8	学部成績証明書	<p><b>【中国以外の教育機関出身の出願者】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本学工学部出身者は提出不要。</li> <li>・大学在籍歴がない者は提出不要。</li> <li>・高等専門学校専攻科修了者は、本科及び専攻科の成績証明書を提出すること。</li> <li>・証明書の原本が日本語又は英語以外の言語で書かれている場合は、「当該言語で書かれた証明書の原本」と「公的な和訳又は英訳の原本」の両方を添付すること。</li> </ul> <p><b>【中国の教育機関出身の出願者】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CHSI(China Higher Education Student Information and Career Center)が発行する英語による成績証明書を、CHSI から本学院(k-gakuin@eng.hokudai.ac.jp)あてに直接メールで送信する形で提出すること。</li> <li>CHSI アドレス:<a href="https://www.chsi.com.cn/">https://www.chsi.com.cn/</a></li> <li>※CHSI の証明書発行には時間がかかる場合があるので、時間に余裕を持って請求すること。出願書類提出期間後に到着したものについては、出願書類として受け付けないので十分注意すること。</li> </ul>

9	修了(見込)証明書	<p>【中国以外の教育機関出身の出願者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本学工学研究科・工学院又は情報科学研究科の出身者は提出不要。</li> <li>・大学院在籍歴がない者及び外国の大学において基礎力審査に相当するものに合格した者は提出不要。</li> <li>・証明書の原本が日本語又は英語以外の言語で書かれている場合は、「当該言語で書かれた証明書の原本」と「公的な和訳又は英訳の原本」の両方を添付すること。</li> <li>・留学生については、発行機関が原本証明した学位記のコピーによる提出も可とする。</li> </ul> <p>【中国の教育機関出身の出願者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出願時に大学等を卒業している者は、中国教育部学位与研究生教育发展中心(CDGDC)が発行する学位の認証書(中国語)を申請し、印刷したものを提出すること。 CDGDC アドレス: <a href="http://www.cdgdc.edu.cn/">http://www.cdgdc.edu.cn/</a></li> <li>・出願時に大学院等に在学中の者は、CHSI(China Higher Education Student Information and Career Center)が発行する英語による「Online Verification Report of Student Record(学籍在线验证报告)」を申請し、印刷したものを提出すること。</li> </ul> <p>※CDGDC 及び CHSI の証明書発行には時間がかかる場合があるので、時間に余裕を持って請求すること。</p>
10	【該当者のみ提出】 博士論文研究基礎力審査に相当する審査に係る確認書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国の大学において基礎力審査に相当するものに合格した者のみ提出。</li> </ul>
11	【社会人入試志願者】 研究業績等調書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様式任意。14 ページの記載例を参考に、在職中に行った専攻分野に関する研究実績を記載すること。</li> </ul>
12	【社会人入試志願者のうち、官公署在職者】 承諾書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様式任意。人事等の責任者の承諾を得ていることが確認できる書類。</li> </ul>
13	【外国人留学生のみ提出】 最終出身学校の指導教員の推薦書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様式任意(ただし、指導教員の手書きのサインが書かれたもの)。コピーは不可。</li> <li>・本学工学研究科、工学院の出身者は不要。現在工学研究院に在籍している研究生については、研究生出願時に提出した推薦書のコピーによる提出も可。</li> </ul>
14	【外国人留学生のみ提出】 在留カードのコピー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本邦外に居住する外国人で本邦に上陸の日から 60 日を超えない外国人については代わりにパスポートのコピー。</li> </ul>
15	【任意提出:環境創生工学専攻・環境循環システム専攻のみ】 TOEFL iBT, TOEIC Listening and Reading TestまたはIELTS(Academic)のスコアシートの原本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試験実施日(1日目)から過去2年以内に受験したもの。</li> </ul>

## 6. 試験日及び選考方法

### ①試験日：2022年8月23日(火)～24日(水)

試験の日時及び試験室等の詳細については、受験票の送付時に通知します。

### ②選考方法

専攻	選考方法
応用物理学専攻	修士論文又は研究業績等調書を中心とする専攻分野に関する試問（口述試験・口頭試問）および出願書類の審査結果を総合して合否を決定します。 原則として筆答試験は行いません。ただし当該専攻が必要と認めるときは、学科試験を課すことがあります。
材料科学専攻	修士の学位論文又はこれに代わるもの及び材料科学の審査（口述試験・口頭試問）、外国語の学力審査（筆答試験）、入学後の研究計画等の審査結果を総合して合格者を決定します。
機械宇宙工学専攻	修士論文又は研究業績等調書を中心とする専攻分野に関する試問（口述試験・口頭試問）および出願書類の審査結果を総合して合否を決定します。
人間機械システムデザイン専攻	原則として筆答試験は行いません。ただし当該専攻が必要と認めるときは、学科試験を課すことがあります。
エネルギー環境システム専攻	修士の学位論文又はこれに代わるものの審査（口述試験・口頭試問）等、専門科目及び外国語の学力（口述試験）、入学後の研究計画等の審査結果を総合して合格者を決定します。
量子理工学専攻	原則として筆答試験は行いません。ただし当該専攻が必要と認めるときは、学科試験を課すことがあります。
環境フィールド工学専攻	修士の学位論文又はこれに代わるものの審査（口述試験・口頭試問）等、専門科目及び外国語の学力（筆答試験）、入学後の研究計画等の審査結果を総合して合格者を決定します。
北方圏環境政策工学専攻	
建築都市空間デザイン専攻	修士の学位論文又はこれに代わるものの審査（口述試験・口頭試問）等、専門科目及び外国語の学力（口述試験）、入学後の研究計画等の審査結果を総合して合格者を決定します。
空間性能システム専攻	修士の学位論文又はこれに代わるものの審査（口述試験・口頭試問）等、専門科目及び外国語の学力（口述試験）、入学後の研究計画等の審査結果を総合して合格者を決定します。 原則として筆答試験は行いません。ただし当該専攻が必要と認めるときは、学科試験を課すことがあります。
環境創生工学専攻	修士の学位論文又はこれに代わるものの審査（口述試験・口頭試問）等、専門科目及び外国語の学力（筆答試験）、入学後の研究計画等の審査結果を総合して合格者を決定します。 成績証明書の内容によって筆答試験（専門科目）を免除することがあります。 外部英語検定試験の成績によって筆答試験（外国語）を免除することがあります。
環境循環システム専攻	修士の学位論文又はこれに代わるものの審査（口述試験・口頭試問）等、専門科目及び外国語の学力（筆答試験）、入学後の研究計画等の審査結果を総合して合格者を決定します。 なお、英語圏出身の外国人志願者については、外部英語検定試験の成績によらず、外国語の筆答試験を免除する場合があります。免除対象者かどうかは、必ず出願前にお問い合わせください。

## 7. 合格発表

合格者の受験番号は、2022年9月9日（金）午後4時に本学院ホームページにおいて掲示発表の予定です。別に受験者全員に対し合否を通知します。

なお、入学手続きに関しては2023年2月中旬に合格者に対して通知します。

## 8. 入学料及び授業料

### (1) 入学料 282,000円

ただし、本学大学院修士課程を修了し、引き続き博士後期課程に進学する者については入学料の納入を要しません。

### (2) 2023年度前期分授業料 267,900円（年額535,800円）

(注) ①上記金額は予定額です。入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金が適用されます。

②入学手続き期間内に入学料を納めなければ、入学の意志がないものとして取り扱います。

③授業料を当該学期中に納付しなかった場合除籍になります。経済的理由により納付が困難な場合は、免除（猶予）申請もあります。

## 9. e<sup>3</sup>プログラムについて

本学院では、英語を使用言語として修士及び博士の学位取得が可能な、グローバル工学人材養成プログラムによるe<sup>3</sup>プログラム（English Engineering Education Program, 略称e<sup>3</sup>）を設置しています。

本プログラムでは、課程修了に必要な授業が英語で開講され、論文発表、研究指導なども全て英語で行われます。

プログラムへ参加を希望する場合、大学院入学試験に合格したうえで、以下のe<sup>3</sup>プログラムのホームページに示す英語力の資格を満たすことが必要です。（<http://www.eng.hokudai.ac.jp/e3/>）

参加の申し込みに当たっては、指導予定教員とよく相談をするようにしてください。

※日本人学生が、e<sup>3</sup>プログラムに参加した場合は、希望者に対して選考のうえ奨学金を給付します。

## 10. 在学期間の短縮による修了について

在学中の成績が優秀で十分な研究業績が認められれば、修学期間を短縮することができます。

基準等については、入学してから各専攻で確認してください。

## 11. 長期履修制度について

長期履修制度とは、職業を有している等の事情で、単位取得や研究指導を受ける時間に制限のある学生が、標準修業年限（博士後期課程3年）を超えて計画的に学修することを希望した場合、学生からの申請に基づき学院において審査を行い、その長期的な履修を認めることができる制度です。申請資格、申請手続き等は13ページのとおりで。なお、長期履修の申請に当たっては、事前に、指導予定教員とよく相談をしてください。

## 12. 注意事項

(1) 入学試験当日は、受験票を必ず持参して机の上に置いてください。

(2) 出願書類等に不備がある場合は受理できませんので、誤記や記入漏れのないように注意してください。

(3) 出願に係る全ての書類は願書受理期間内に提出してください。願書受理期間終了後は、不足した書類等に係る相談は受け付けられません。

(4) 出願後はいかなる事情があっても志望の変更を認めません。

(5) 一度受理した出願書類等はいかなる事情があっても返還しません。

(6) 出願書類等に虚偽の記載が発見された場合は、入学許可を取り消すことがあります。

## 13. 個人情報の取扱いについて

(1) 本学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人北海道大学個人情報管理規程」に基づき、保護に万全を期しています。

(2) 出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選考実施）、②合格発表、③入学手続、④入学者選抜方法等における調査・研究、⑤及びこれらに付随する業務を行うために利用します。

- (3) 各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下、「受託業者」という。）において行うことがあります。業務委託に当たり、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、お知らせいただいた個人情報の全部又は一部が提供されます。
- (4) 出願に当たってお知らせいただいた個人情報は、合格者のみ入学後の①教務関係（学籍，修学指導等），②学生支援関係（健康管理，奨学金申請等），③授業料等に関する業務を行うために利用します。
- (5) (4) の個人情報のうち、氏名，住所に限って、北大フロンティア基金及び本学関連団体である①北海道大学体育会，②北海道大学工学部北工会からの連絡を行うために利用する場合があります。

#### 14. その他

- (1) 入学願書を受理した者には，2022年7月下旬に受験票を送付します。
- (2) 入学志願者で身体に障害のある者は，あらかじめ受験上や修学上の対応が必要となる場合があるので，2022年6月24日（金）までに教務課大学院担当に申し出てください。

## 社会人入試

### 1. 出願の要件

出願時に教育・研究機関，会社等に勤務経験を有すること。  
出願資格については，2023年4月入学一般入試を参照すること。

### 2. 選考方法

修士論文又は研究業績等調書を中心とする専攻分野に関する諮問及び出願書類の審査結果を総合して合否を決定する。ただし，当該専攻が必要と認めるときは，学科試験（専門科目・外国語）を課すことがあるので，事前に指導予定教員に問い合わせること。

### 3. 選抜試験の期日及び時間等

2022年8月23日(火)～24日(水)の間で当該専攻が指定する日時  
(志願者の都合を考慮するので，指導予定教員と事前に打ち合わせること)

※上記以外の事項については，一般入試募集要項を参照すること。

2022年4月

## 北海道大学大学院工学院

《連絡先》

〒060-8628 札幌市北区北13条西8丁目  
北海道大学工学系事務部  
教務課 大学院担当  
電話 (011) 706-6121  
k-gakuin@eng.hokudai.ac.jp

# 2022 年 10 月入学試験に関する要項

## 一般入試

### 1. 募集人員

専攻	募集人員	専攻	募集人員
応用物理学	若干名	環境フィールド工学	若干名
材料科学	若干名	北方圏環境政策工学	若干名
機械宇宙工学	若干名	建築都市空間デザイン	若干名
人間機械システムデザイン	若干名	空間性能システム	若干名
エネルギー環境システム	若干名	環境創生工学	若干名
量子理工学	若干名	環境循環システム	若干名

### 2. 出願資格

下記（１）～（８）のいずれかに該当すること。

- （１）修士の学位又は専門職学位を有する者及び 2022 年 9 月までに修士の学位又は専門職学位を授与される見込みの者
- （２）外国の大学において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び 2022 年 9 月までに授与される見込みの者
- （３）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び 2022 年 9 月までに授与される見込みの者
- （４）我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び 2022 年 9 月までに授与される見込みの者
- （５）国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和 51 年法律第 72 号）第 1 条第 2 項に規定する 1972 年 12 月 11 日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学（以下「国際連合大学」という。）の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び 2022 年 9 月までに授与される見込みの者
- （６）外国の学校、（４）の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第 16 条の 2 に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者及び 2022 年 9 月までに認められる見込みの者
- （７）文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第 118 号）  
「大学を卒業し、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、本学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者」及び「外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、本学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者」
- （８）本学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2022 年 9 月 30 日までに 24 歳に達する者（以下「個別の資格審査による志願者」という。）

※ 上記以外の事項については、2023 年 4 月入学を参照すること。

## 社会人入試

### 1. 出願の要件

出願時に教育・研究機関，会社等に勤務経験を有すること。  
出願資格については，2022年10月入学一般入試を参照すること。

### 2. 選考方法

修士論文又は研究業績等調書を中心とする専攻分野に関する諮問及び出願書類の審査結果を総合して合否を決定する。

ただし，当該専攻が必要と認めるときは，学科試験（専門科目・外国語）を課すことがあるので，事前に指導予定教員に問い合わせること。

### 3. 選抜試験の期日及び時間等

2022年8月23日(火)～24日(水)までの当該専攻が指定する日時  
(基本的に志願者の都合に合わせるのを，指導予定教員と事前に打ち合わせることを)

※ 上記以外の事項については，2023年4月入学を参照すること。

2022年4月

## 北海道大学大学院工学院

《連絡先》

〒060-8628 札幌市北区北13条西8丁目  
北海道大学工学系事務部  
教務課 大学院担当  
電話 (011) 706-6121  
k-gakuin@eng.hokudai.ac.jp

## 長期履修の申請資格、申請手続き等について

### 1. 申請資格

長期履修を申請できる者は、次のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 官公庁、企業等に在職している者（給与の支給を受け、職務を免除されている者を除く。）又は、自ら事業を行っている者等フルタイムの職業に就いている者
- (2) アルバイト、パートタイム等の職業に就いている者で、学院において、その負担により修学に重大な影響があると認めたもの
- (3) 学院において、育児、親族の介護等前2号に準ずる負担により、修学に重大な影響があると認めた者
- (4) 視覚障害、聴覚障害、肢体不自由その他の障害を有している者で、学院において、その障害により長期にわたり修学に重大な影響があると認めたもの

### 2. 申請の手続き

長期履修を申請する者は、次の(1)～(4)の書類を入学願書に添えて提出してください。

申請書用紙の請求については、教務課大学院担当までご連絡ください。

- (1) 長期履修申請書及び理由書
- (2) 履修計画書
- (3) 長期履修が必要であることを証明する書類等
- (4) 障害者手帳又は医師の診断書（上記1. 申請資格(4)に該当する者のみ提出）

### 3. 可否の通知

申請書類に基づき審査のうえ、可否を決定し、9月中旬に通知します。

### 4. 在学期間

長期履修学生として在学することを認められる期間は、1年を単位とし、博士後期課程にあつては4年から6年までとなります。

なお、各年度の修了月は、9月又は3月となっていますので、長期履修申請書に長期履修計画年数を記入してください。

### 5. 授業料の年額

長期履修学生の授業料年額は、授業料の年額に標準修業年限に相当する年数を乗じて得た額を許可された在学期間の年数で除した額となります。（授業料の改定時期によっては、修了までの納入予定総額が当初の予定より増額することがあります。）詳しくは、教務課大学院担当にお問い合わせください。

### 6. 在学期間の短縮または延長

長期履修学生で特別な事情がある場合は、在学する課程において、1回に限り期間の短縮又は延長を申請することができます。

#### (1) 在学期間の短縮

長期履修期間の短縮を認めることのできる期間は、博士後期課程にあつては、6年から5年への短縮、5年から4年への短縮の場合です。

長期履修期間の1年短縮を希望する場合は、長期履修期間が終了する日の2年前（博士後期課程において2年短縮を希望する場合は、3年前）までに「長期履修期間変更願」を提出し、許可を得なければなりません。

#### (2) 在学期間の延長

長期履修学生は、在学期間の延長をすることができます。

在学期間の延長を希望する者は、当初の長期履修期間が終了する日の1年前までに「長期履修期間変更願」を提出し、許可を得なければなりません。

なお、在学期間は、博士後期課程6年を超えることができません。

- (3) 在学期間の短縮又は延長の場合の授業料は、再計算されますが、いずれも在学期間に応じ過不足の調整がなされますが、既納の授業料は返還されません。

### 7. その他

長期履修の申請は、入学時のほかに、2年次・3年次進級時にも行うことができます。ただし、その場合、授業料の総額が、入学前に長期履修を申請した場合に比べ増額となりますので、ご注意願います。（最終年次での申請はできません。）不明の点については、教務課大学院担当までご連絡ください。

